

## ローズバーグコーナー

立ち寄った際は、ぜひご覧ください。



### 菟浦図書館



オレゴン州の歴史が書かれた本や写真集のほか、ローズバーグ市から寄贈された本が置いてあります。

### 菟浦総合支所 1階



姉妹都市提携の調印式で使われたペンや、特産でもある木材を使った工芸品など、寄贈されたものが数多く飾られています。

### 全小中学校にALT

久喜市は、中学校だけでなく小学校にも全校にALTを配置しています。

小学3年生から外国語の授業が始まり、早い段階から生の英語に触れることができるため、外国の方とのコミュニケーションにも抵抗感が少なく、実践的な外国語教育を受けることができます。



**英語を身近に**  
ローズバーグ市出身で、現在、小林小  
学校・菟浦中学校のALT（外国語指導  
助手）を務めるジョン先生。旧菟浦町の  
時代を含め、約12年にわたり久喜市の外  
国語教育に携わっています。  
子どもたちが「Hello!」と元気よく  
教室に入ってくると、ジョン先生も笑顔  
で応えます。日直が英語で号令をかける  
と、みんな慣れた様子で英語であいさつ

「現在の派遣交流は中学生と成人に限  
定していますが、今後は高校生や大学生  
など、年代を問わず交流したいと考えて  
います。また障がいのある子どもも派遣  
できるのではないかと考えています。し  
かし、それには久喜市側の働きかけだけ  
ではなく、ローズバーグ市側からも受け  
入れの体制をつくる必要があります。私  
はいずれローズバーグ市へ帰り、交流の  
道筋を作っていきたいと思っています」  
続けて、ジョン先生はこう話してくれ  
ました。

### より広く強い架け橋を

久喜市・ローズバーグ協会の会員でも  
あるジョン先生は、久喜市とローズバー  
グ市の架け橋を、より広く強くしたいと  
話します。

をします。授業は絵や写真のカードを使  
い、ゲーム形式を取り入れることで、苦  
手意識をなくし楽しみながら英語に触れ  
られるようです。

「今年、協会のTシャツをローズバー  
グ市内の印刷業者で作製することが決ま  
りました。それに、久喜市内の飲食店で  
ローズバーグ市の地ビールを輸入し提供  
するお店も出てきています。このように、  
経済的な交流が始まれば、単に派遣する  
だけでない、長期的な交流が生まれます」  
このように、交流は徐々に広がりを見  
せています。自分自身を見つめなおし、  
視野を広げる貴重な体験ができるローズ  
バーグ市派遣交流事業。皆さんも参加し  
て、架け橋になってみませんか。  
インタビューの最後、先生の言葉がと  
ても印象に残りました。  
「姉妹都市という言葉のとおり、久喜  
市とローズバーグ市は家族です。困った  
ときは助け合い、寄り添った交流を深め  
ていきたいと思っています」  
● 派遣交流に関する問合せ：市民生活課  
自治振興係（内線2621）  
● ALTに関する問合せ：指導課指導係  
（内線346）

